

## こちら特報部

FAX 03(3595)6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

東京のTV「基地反対派に日当」

東京ローカル局のニュースバラエティ一番組が、沖縄県の米軍基地反対運動を「日当をもらっている」と攻撃した。反対派は「沖縄ヘイトの典型だ」と猛反発している。(沢田千秋)

問題の番組は「東京メトロポリタンテレビジョン(通称・TOKYO MX)」(東京都千代田区X)で二日に放送された「ニュース女子」。沖縄の基地問題の特集コーナーで、軍事ジャーナリストの井上和彦氏が沖縄を訪れたVTRが流れ、「万が一逮捕されても影響が少ない六十五歳以上を過激デモ活動に従事させている」として、反対派

に「シルバー部隊」がいると説明。「反対派の暴力行為で住民も現場に近づけない」と、反対派を「テロリスト」に例えた。

また、ヘイトスピーチやレイシズムに反対する団体「のりこえねっと」(新宿区)を紹介し、「反対派は日当をもらっている」「何らかの組織に雇われている」と推測した。

VTRの後、井上氏はスタジオで「韓国人はいるわ、中国人はいるわ。何でこんな奴らが反対運動やってるんだと地元の人は怒り心頭」と主張。元経済産業省官僚の岸博幸氏は「実は沖縄の人はみんなアメリカが好き」と決めつけた。経済ジャーナリストの須田慎一郎氏は、「のりこえねっと共同代表の辛淑玉氏を「在日韓国人の差別と戦つてきながりスマでお金がガンガン集まる」とやゆした。

# 「沖縄ヘイト」まん延

のりこえねっとは五日付で、「辛淑玉を誹謗中傷する虚偽報道に対する抗議声明」を公表した。

辛氏は、「MXの取材も連絡も一切受けていない」として「金でしか人間関係を築けない人は身銭を切つ

米軍北部訓練場の非返還区域前で、機動隊員とともにみ合うヘリパッド建設反対派の市民ら=昨年12月21日、沖縄県東村高江で



だ」と批判する。「日当」については「昨秋、沖縄の現状を見て、ネット上で発信する特派員を募集した時、交通費として五万円を出した。カンパで五万円が集まるたびに一人派遣し、合計十六人。だが、格安航空券でも、那覇空港から電車もない現地へ行くには五万円では到底足りず、みんな自腹覚悟で行った」と反論する。

MXの編成部は「こちら特報部」の取材に「状況確認及び」回答の可否も含めて、結論が出ておりません」としている。

地元の反対派からも怒りの声が上がっている。「辺野古ヘリ基地反対協議会」の共同代表で名護市在住の安次富浩氏は、特に岸氏の「アメリカが好き」発言について「米軍にレイプされ、殺された女性の両親に聞いてござんなさい。オス

て正義や人権のために動く人が理解できない。番組は沖縄で踏ん張って生きる人を侮辱した、まじう事なき悪意。沖縄ヘイトの典型だ」と批判する。「日当」については「昨秋、沖縄の現状を見て、ネット上で発信する特派員を募集した時、交通費として五万円を出した。カンパで五万円が集まるたびに一人派遣し、合計十六人。だが、格安航空券でも、那覇空港から電車もない現地へ行くには五万円では到底足りず、みんな自腹覚悟で行った」と反論する。

ヘイトスピーチ問題に詳しいジャーナリストの安田浩一氏は「本土より恵まれているとの意識的デマで沖縄をおとしめる言説の流布は、在日コリアン差別の回路と非常に似ている。メディアがばかりかしいとデマを放置した結果、在日コリアンヘイトが悪化した」と指摘した上で、沖縄ヘイトについて「許し難いデマの間違いを訴え続け、沖縄の実情をメディアが正しく報じるしかない」と訴える。

## 通常国会に法案提出検討

菅義偉官房長官は五日の定例記者会見で、「共謀罪」を盛り込んだ組織犯罪処罰法改正案についての質問を受け、二十日召集の通

関係機関と協議を重ねてい

オ五輪サッカー男子決勝戦で蒲をする治安部隊=昨年8月ラカナン競技場で(共同)

### ニュースの追跡

〇三年以降、国会に三回提出されたが、全て廃案になつていている。捜査当局が恣意的な運用をして市民運動を弾圧したり、内心の自由を侵害したりするといふ懸念から、市民が「絶対反対」の声を上げてきた。

しかし、安倍政権は強

ツブされる」。だから、五輪を前面に出すのか?

公式エンブレムや新国立競技場など、東京五輪を巡ってはじたが続いている構組みも決まりない。そして、今度は「共謀罪」だ。

スポーツライターの玉木

プレイも落とされ、それで米軍が好きと大多数が言つていると取材したのか」と吐き捨てるように言う。

沖縄在住のノンフィクションライター渡瀬夏彦氏は「古今東西、植民地支配者は必ず現地の協力者をつくる。沖縄にも中央の補完勢力として、反対派の日当や基地容認論を流す専門家がいる」と危惧する。